
デッサン 第2話「美しい男性（ひと）」（2）

小箱町まりあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

デッサン 第2話「美しい男性」(2)

【Nコード】

N3527Q

【作者名】

小箱町まりあ

【あらすじ】

家事を休んでデイケアに行ったら、彼が微笑んできた。

彼にどんどん引かれてく(前書き)

美しい男性ひつの言葉の虜ひつになっていく。

彼にどんどん引かれてく

そうとも知らない陶子は無邪気に刈谷の促すままに会話を楽しみだした。イケメンの刈谷に話しかけられて悪い気もしなかったのだ。

そうこうするうちに、刈谷は同じ絵の講師のもう1人の芳沢について「彼はあの「笑っていいとも」に出てて、奥さんと一緒にケーキを作って出してで、番組内でタモさんとか言っていて、ヤバイんですよ。」

と言い出した。すると、それを聞いた陶子は

「ええー、あの無口な先生が「笑っていいとも」ですかー。信じられない。でも、院長先生にばれたらヤバイんじゃないんですか。」と返した。だから、刈谷は

「もう、患者さんの口からもれてばれてるんですけどね。」と言った。

こうして、2人の会話が盛り上がり盛り上がっているところに、聖哉が来て信じられないものを見たかのような顔して立っていた。気付いた陶子は

「じゃあ、3人で話しを。」

と言った。すると、刈谷はきまらずいのか1人何処かへ行ってしまったのだ。その後、聖哉は

「陶子ちゃん、陶子ちゃん。」

と陶子のそばを離れないのです。

陶子は自分の片思いの危険さを気付いてなかったのであった。

彼にどんどん引かれてく(後書き)

彼は美しく、夫は優しい、私は。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3527q/>

デッサン 第2話「美しい男性（ひと）」（2）

2011年1月28日08時41分発行